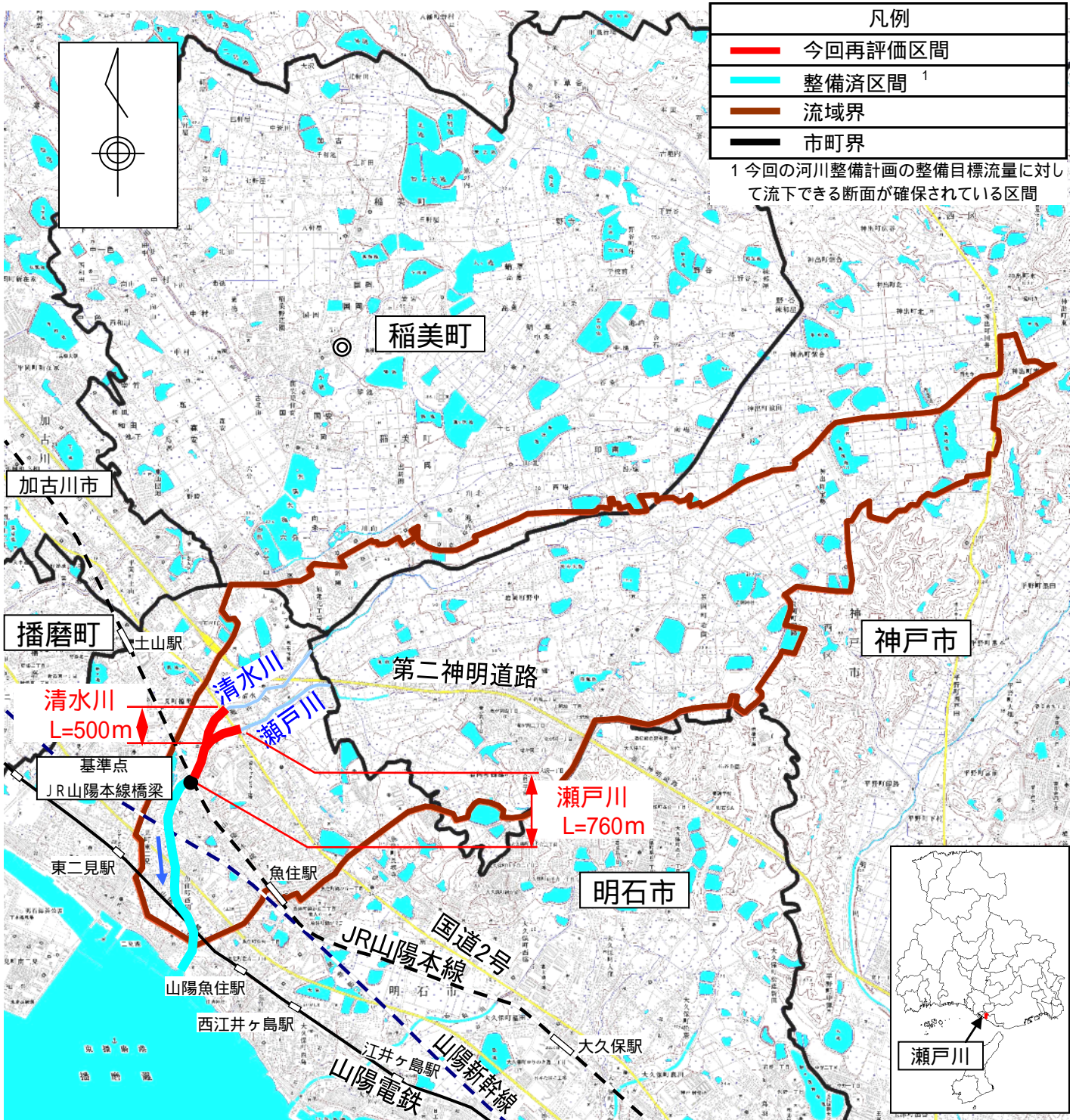


継続事業評価調書  
【河川事業】

二級河川 瀬戸川

土木局 河川整備課

# 瀬戸川水系河川整備計画概要



## 河川整備計画の概要

策定年度	平成19年度		
対象河川	瀬戸川水系の法河川区間(流域面積: 20.9km <sup>2</sup> )		
整備目標流量	JR山陽本線橋梁地点 210m <sup>3</sup> /s(昭和40年9月台風23号の洪水を考慮して定めた流量)		
整備区間	河川名	No	延長(m)
	瀬戸川	JR山陽本線橋梁 ~ 幣塚橋上流	760
	清水川	瀬戸川合流点 ~ 帝釈橋上流	500
整備期間	H14から概ね20年		

今回事業評価対象区間

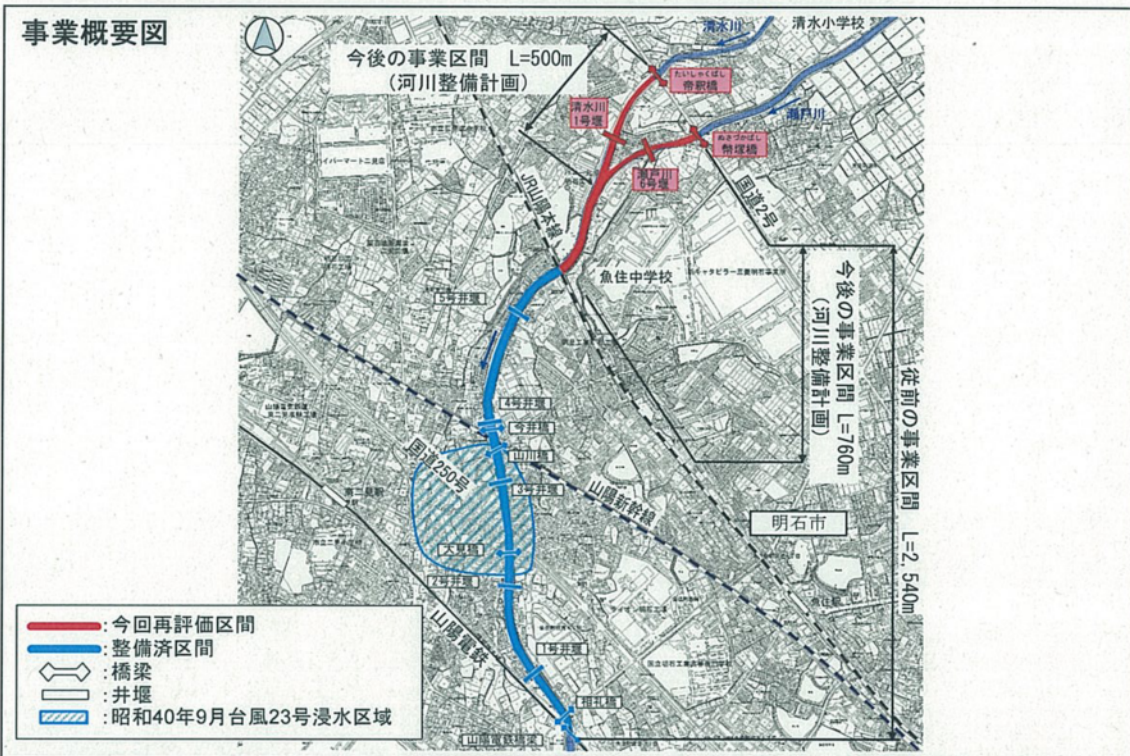
## 【二級河川 瀬戸川 総合流域防災事業】

[従前] 従前の整備内容での比較

	現計画	前回評価時点
事業採択年度	昭和 54 年度	昭和 54 年度
完成予定年度	平成 31 年度	平成 24 年度
総事業費	61 億円	61 億円
整備延長	2,540m	2,540m
整備区間	明石市魚住町西岡～清水	

[今後] 河川整備計画に即した整備内容の比較

	現計画	前回評価時点
河川整備計画策定年度 (事業採択年度)	平成 19 年度	平成 19 年度
完成予定年度	平成 31 年度	平成 24 年度
総事業費	5 億円	5 億円
整備延長	1,260m	1,260m
整備区間	明石市魚住町西岡～清水	



### 事業変遷

昭和 40 年：台風 23 号洪水（浸水家屋 280 戸）

昭和 51 年：台風 17 号洪水

昭和 54 年：中小河川瀬戸川改良工事全体計画書策定

（小規模河川改修事業着手（L=2,540m 山陽電鉄～国道 2 号））

昭和 57 年：台風 10 号洪水

平成 10 年：事業評価（再評価第 1 回）

平成 14 年：J R 山陽本線下流までの整備完了

平成 15 年：事業評価（再評価第 2 回）

平成 17 年：瀬戸川水系 河川整備基本方針策定

総合流域防災事業に移行（L=2,540m 山陽電鉄～国道 2 号）

平成 19 年：瀬戸川水系 河川整備計画策定（L=1,260m J R 山陽本線～国道 2 号）

事業評価（再評価第 3 回）

平成 20 年：河川整備計画の公共事業等審査会への報告

〃: 今後の事業として位置付け